

謝辞

日を追うごとに春も深まり、心華やぐ季節となりました。本日は私たち卒業生のために、盛大な式典を挙げてくださり、誠にありがとうございます。また、ご臨席いただきました、学長をはじめ、諸先生、ならびにご来賓の皆様卒業生一同、心より御礼申し上げます。

二年前の春、私は大阪成蹊短期大学、栄養学科の一員として新しい一歩を踏み出しました。これから始まる大学生生活に期待と不安を抱きながら迎えた入学式をととても懐かしく思います。そして卒業を迎えた今、あの時と同じ気持ちを胸に、また新たな一歩を踏み出せる喜びを実感しつつ、少しの寂しさも感じています。

学生生活を振り返れば、大阪成蹊短期大学で学んだ日々はあっという間の時間だったように思います。しかし、私にとってたいへん充実したかけがえのない2年間になりました。

私は栄養学科に所属した2年間で多くの知識を身につけ、技術・経験を培いました。専門の分野に関する知識だけではなく、プレゼンテーションの機会が多くあった大学での学びは、内気な自分の心を変え、大きく成長することができました。

また、2回生の夏には校外実習で病院に行かせていただき、献立作成や厨房業務、衛生管理や他職種の方々と連携されている姿など、栄養士の業務を実際に見学し体験する、貴重な経験をさせていただきました。体験は今まで学んできた知識と結びつく所もありましたが、初めて気付くことや新たな学びの方が遙かに多く、自分の未熟さを痛感しました。そして何よりも人の命を預かっているという栄養士の責任の重大さを改めて実感しました。

これまでの学びを発揮した卒業作品展では、グループみんなで意見を出し合いながら試行錯誤を繰り返し、集大成にふさわしい作品を作り出すことができました。すべての班の作品が展示場所に並んだ時には大きな達成感を得ることができました。

私たち卒業生一同は、先輩の方々に比べると新型コロナウイルスの影響は小さく、大きな制限は受けず日々の大学生生活を送ることができたと思います。高校生活において、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた私たちは、そんな当たり前の日々を送れることがどれだけありがたいことなのか知ることができました。

大阪成蹊短期大学というとても恵まれた環境の中で切磋琢磨してきた私たち卒業生は、「建学の精神」と「忠恕の心」を忘れずこれからの日々も努力して参ります。

今日まで、大阪成蹊短期大学で充実した日々を送ることができたのは、未熟な私たちを励まし、ご指導ご支援くださいました学長をはじめとする教職員の皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。また、今日まで学び続けることができたのは、家族の支えがあったからです。いつも味方でいてくれ、見守り続けてくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、これからの日々を過ごしていきたいと思います。さらに学生生活を共に過ごしてきた仲間との思い出は、私にとってかけがえのない大切な宝物です。楽しいこと、辛いことを共に乗り越え、私に刺激的な毎日を送らせてくれた仲間へ改めて感謝の言葉を伝えます。

最後になりましたが、卒業生を代表いたしまして、大阪成蹊短期大学の一層のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心より願い、謝辞とさせていただきます。

令和6年3月18日

大阪成蹊短期大学 卒業生代表
栄養学科 西村日和